

017
100

冷静と使命の権宮司

西高辻信宏

太宰府天満宮権宮司

文=片山正通

初 めて会ったのはアーティストを囲む食事会の席だった。太宰府天満宮の権宮司だと紹介された時、どうしてと不思議に思った。のちに彼がアートコレクターだと知って、また不思議に思った。

彼が主催するアートプログラムに参加するために訪福したとき、太宰府天満宮の歴史について話してくれ、新しいものを取り入れることこそが歴史を創るという感覚を初めてそこで認識した。

そして2012年、彼が兼務している宝満宮竈門神社のお札・お守り授与所のインテリアデザインを依頼された。プレゼンテーションの際、「こう来ましたか」と笑った彼は、宮司家40代という重い歴史を背負う。それはその時代、未来に対する選択の歴史であり、彼は「つないでいく」責任の重さをすごく冷静に捉えている。新しい概念を柔軟に取り込み、世界にメッセージを発信する。そんなことができるのは彼ぐらいだろう。

➤ 片山正通 / ワンダーウォール代表、武蔵野美術大学教授

018
100

教育観を問い直す

松田悠介

Teach For Japan代表理事

文=湯浅 誠

N PO・社会的企業とは有機農業のようなものだ。かつて、有機農家は「変わり者」と迷惑がられた。しかし今、有機野菜と一般の野菜が同じ値段だったら、多くの人が前者を選ぶ。「変人」が世の価値観を変えた。

NPO・社会的企業とは、このような「問題提起」だ。新しい教育システムを提案・試行する松田悠介氏に対しても、問われるべきは「それで日本の教育システムが変わるのか」ではなく、「その試行錯誤は、自分の教育観に何を問いかけているか」だ。そしてその問いにこそ、日本の教育システムを改善する可能性がある。

松田氏の挑戦を、ありきたりの既得権益批判の文脈で捉えるべきではない。教育が重要なのは「人をつくる」からだ。だとしたら、既存の教育システムでつくられた私たちこそが問われている。

➤ 湯浅 誠 / 社会活動家

019
100

諸刃の二刀流

大谷翔平

北海道日本ハムファイターズ

文=岩本 勉

や っぱりスター。開幕戦でいきなり2安打を打ち、ヒーローをかつさらうあたりはまさにそうだ。今の段階ではプレー中の修正能力が備わっていないが、トライし、形にしていく能力はズバ抜けている。

個人的には投手一本に絞った方がいいと感じている。打者としても非凡なものを持っているが、プロ1年目で、彼と肩を並べる能力を持っていた打者は数多くいた。だが、弱冠18歳(現19歳)で155キロを連発する投手は見たことがない。まるでダルビッシュの2年目をルーキーイヤーで見ているようだ。そして彼の一番の夢はメジャー。大リーグは各ポジションのスペシャリストを求めており、その意味でも投手で勝負した方がいい。

日本ハムは昨季、最下位に沈んだ。その中で二刀流がチームに綻びを生んだのは事実。だが数年後、大谷ありきのファイターズが完成し、投打で勝利に貢献し続けたなら、今年の起用法が正解だったと言われるだろう。

➤ 岩本 勉 / プロ野球解説者、元北海道日本ハムファイターズ投手